

てあ行こう

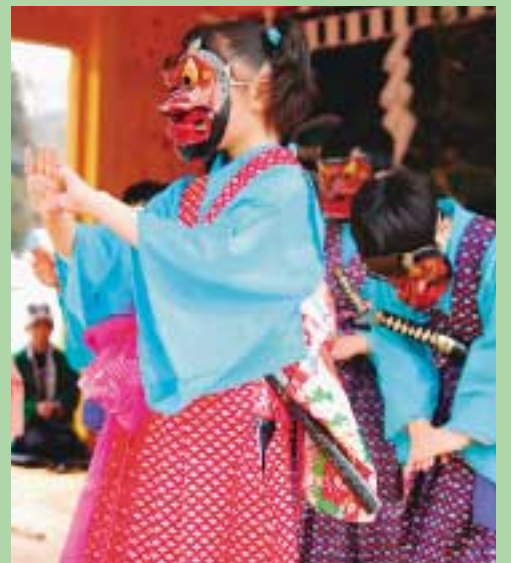
文化香るふれあいの里 木造の演舞場を備える 浅沢神楽伝承館が完成

市無形民俗文化財の浅沢神楽を地域文化のシンボルとして位置付け、「文化香るふれあいの里」を目指し、地域おこしに取り組もうと「浅沢神楽伝承館」は完成し、3月25日に落成式が行われました。県が中山間地域総合整備事業で県道二戸安代線沿いの浅沢地区に整備。3月6日に市に移管されました。総事業費は1億1352万円で、木造平屋516平方メートル。離れには神楽を披露する演舞場が設けられています。



【浅沢神楽】800年ほど前の鎌倉時代、各地で修行をしていた山伏の一行が、二戸市天台寺近くの飯近集落に居住し、社を建立した。浄法寺城主と領民の安泰、五穀豊穰、悪疫退散を祈願したときに、神楽も奉納されたのが始まりといわれている。演目は「番楽」「鳥舞」「三番叟」「虎の口」「普勝」「権現舞」「あねこ舞」「ホロ口舞」「小僧舞」の9種あり、すべてを演じるには4時間ほどかかる。

●場 所 岩木向77番地(右の地図を参照)



▽4月は、入学や就職、転勤などにより、新たな旅立ちや出会いが見られる季節です。市役所も組織・機構の再編、定期人事異動により、各部署の顔ぶれが新たになる中、広報担当は全員留年となりました。本年度も見慣れた顔が、取材で皆さんのところに伺いますので、これまで同様よろしくお願ひします。(久志)

▽運命の時。人事異動の季節がやってきました。結果は、見事に留年。旧松尾村から通算すると、7年目の春を迎えました。義務教育に例えると、留年というよりも、小学校を卒業し、中学校に進学したことになります。一年生の気持ちで頑張りますので、本年度も「広報はちまんたい」をよろしくお願ひします。(隆二)

▽春の便りが次々と届く中、いきなりの大雪で真冬に逆戻り。季節の節目には十分にご注意を。春の人事の便りでは、広報7年生になる大先輩を差し置いて先に卒業するわけにもいかず、あえなく留年決定。来季も取材などで皆さんのところにお邪魔しますので、よろしくお願ひします。(真人)

こしら
編集室